

平成24年3月

1 これまでの経緯

伊賀地域では中学校卒業生数の減少に対応するため、平成16年度から協議会を設置し、平成33年頃までの県立高等学校のあり方について検討を進めてきました。平成18年度までの協議では、公聴会を通して広く意見を聞きながら、伊賀市内の専門高校3校を統合して、新総合専門高校を設置することをまとめるとともに、少子化が進む平成27～33年頃には伊賀地域の高校は4校程度となることもイメージ化しました。

平成22年度に、平成18年3月にまとめられた「協議のまとめ」（別添参照）とその後の県教育行政における当地域のこれまでの再編活性化について検証するとともに、中学校卒業生が大きく減少する平成27年度以降の高等学校のあり方について検討するため、協議を開始しました。

2 現状と課題

伊賀地域の中学校卒業生数は平成23年3月には1,673人でしたが、平成27年3月には1,443人程度となり、約230人減少する見込みです。地域全体の学級数も、平成23年度は33学級でしたが、平成27年度には27～28学級となることが予想され、このままでは4学級以下の小規模となる学校もできるため、学校としての活力の低下が懸念されます。

また、平成23年4月に近畿大学工業高等専門学校が熊野市から名張市に移転し、平成23年度入学者選抜では伊賀地域から前年比40人増の48人が入学するなど、新たな状況も生まれています。

3 これまでの再編活性化の検証

本協議会では、平成21年度に設置した伊賀白鳳高校の生徒対象アンケートの集計結果や、伊賀市・名張市両市の小中学校長会やPTA連合会等への聞き取り調査の結果を資料として協議を行いました。主な内容は次のとおりです。

- (1) 伊賀白鳳高校については、7学級規模の学校になり、活性化がはかられた。アンケートでは、7割の生徒が伊賀白鳳高校に入学して満足していることがわかったが、所属する学科・コースを入学後にすべての学科・コースの学習内容を体験したうえで決定するシステムについてはさまざまな意見があり、引き続き検証していく必要がある。
- (2) 平成18年3月の「協議のまとめ」と平成20年3月の「三重県立高等学校再編活性化第三次実施計画」では、あけぼの学園高校は2学級を設置のコンセプトとしており、多様な生徒にきめ細かな指導をして成果をあげていることから、当面は存

続を求める声が多い。

- (3) 平成20・21年度に名張分科会を開催して、名張地域3校の活性化方針がまとめられたが、生徒や保護者に、これまで以上の特色化・魅力化が伝わっていない。
- (4) 「再編活性化基本計画」で適正規模としている1学年3～8学級は県全体の基準であり、伊賀地域においては学校運営の観点から、6学級を大きく上回ったり下回ったりしない規模が適当と考えられる。3～4学級では活性化は難しい。

4 伊賀地域の高等学校の今後のあり方

平成18年度の「協議のまとめ」には、平成27年度以降で伊賀地域の高等学校が4校程度になるイメージが記されており、この「4校案」をベースに、伊賀地域高等学校の今後のあり方について協議を行いました。主な内容は次のとおりです。

- (1) 1学年の学級数が4学級以下になると、教職員の人数が減り、設置できる選択科目の数が減るなど教育課程への影響があるほか、部活動や学校行事が沈滞し、学校の活力が失われる。このことを資料をもとに検証した。
- (2) 名張市内の普通科2校については、これまで違いが出せるように特色化の議論を進めてきたが、普通科であるという共通点に加え、進路状況もよく似ており、特色や独自性が出せているとはいえない。これら2校は、3～4学級規模だと同じようなレベルになり、中学生の進路選択幅の拡大には結びつかない。
- (3) 名張地域から津方面への進学が多く見られることから、名張の子どもたちが名張の高校で学ぶことのできる学校づくりが必要である。このことから、名張市の普通科2校については、それぞれの特色を併せ持つ7学級程度の規模の1校に統合して、進学に特化したクラスをつくるなど、名張市の子どもたちの幅広い進学ニーズに対応できる、活力ある高校を作った方がよい。
- (4) 伊賀市内には、名張市の高校に通学するために保護者の送迎が必要な地域があり、統合する学校については、交通の便がよく、通学しやすい場所に位置づけるべきである。
- (5) 平成28年度に生徒数が一時的に増加することを考えると、統合には慎重であるべきである。また、普通科として1校に統合したとしても、もう1校を地域の学習ニーズにあったちがった形の高校とすることも考えられる。

これらのことから、統合についてはやむを得ないが、統合後の学校像を明確にするための時間が必要であるなどの意見はありましたが、

学習内容や進路状況等に共通点が多い名張桔梗丘高校と名張西高校については、平成27年度を目途に7学級程度の1校に統合し、それぞれの特色を併せ持つ、生徒・保護者にとって魅力ある、活力ある学校づくりを行う

ことで協議がまとめられました。